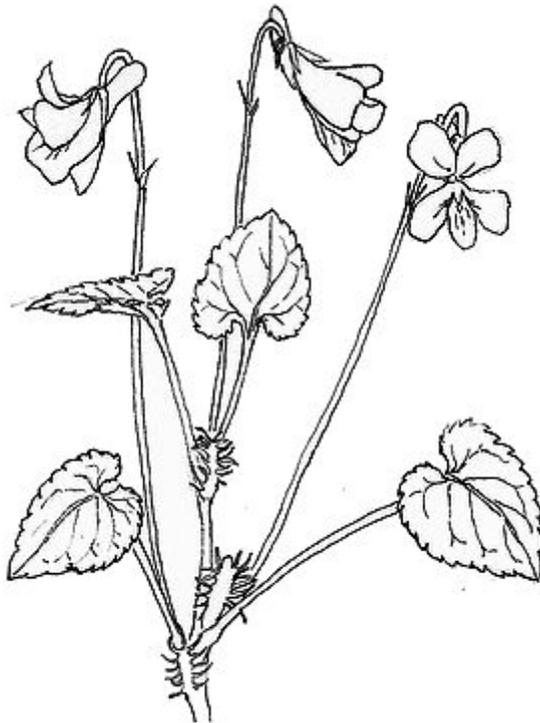


稲城野草散策の会

野草スケッチ タチツボスミレ（スミレ科）



1996/04/04

稲城市坂浜

絵と文 Ta

日本を代表する草花は、と訊かれたら、躊躇無くスミレと答える。

スミレが嫌い、という人にはお目にかかったことがないほど、万人に愛されている花だと思う。

ところが、スミレは種類が多く、色変わり品種まで数えると、日本には200種以上があるという話だ。

会報第39号 2008年3月30日発行 発行責任者 尼子 房夫

もちろん、それぞれに名前が付けられている。

スミレを愛しながらも、種類の多さ、分類の難しさに戸惑い、匙を投げた人も少なからずいるのではないだろうか。

多摩丘陵に自生するスミレの仲間は10種類ほどである。

この程度なら、まあ、問題なく楽しめるが、やがて物足りなくなってくる。

人間とはわがままなものだ。

10種類ほどのうち、最も普遍的、平たく言えばどこにでも生えているのがタチツボスミレである。

タチツボスミレは全国的に見ても分布が広く、市街地から山地まで、環境の違いなどはものともしないたくましさを持っている。

そんなわけで、タチツボスミレの観察ポイントなどは紹介するまでもないが、このスケッチを描いたのは、稲城市坂浜（さかはま）地区である。

我が家から3 kmほど離れた田園地帯で、このときは車で出かけた。

どこにでもあるし、我が家の猫の額みみたいな庭にも咲いている。わざわざ出かける必要もないのだが、スケッチには出会いがある。

描くからには、よい時期により形の「美人」を選びたくなるのは人情だ。

他の草に埋もれていては描きづらいし、株が大きすぎるとは画用紙に収まりきれない（描く時間も膨大になる）。

かといって、花が1輪しかないような株では淋しすぎる。

それと、足場がよくなくてはスケッチはできない。

私は花を描く際には、切ったり抜いたりせず、咲いているままの状態を描くことを信条としている。

べつに高邁な思想からそうしているわけではなく、生き生きした様子を写し取りたい、花にダメージを与えるようなことはしたくない、という気持ちからである。

したがって、その場で描くための足場が必要なのである。

足場と言っても、立って描くことはあまりない。

特にスミレのような低い草花の場合は、腹這いである。

1畳分のシートを敷いて、地面にあごをこすりつけるような姿勢をとる。

湿った場所での腹這いは遠慮申し上げたい。

傾斜があっても長時間のスケッチは困難だ。

同じ間の花がシートの下敷きになるような位置も避けたい。
それでいて、一番綺麗に見えるアングルを確保したいのだ。
そうした条件をひっくるめて「足場」と呼んでいる。

美人と遭遇しながら、足場が悪くて、そのまま別れてしまうこともある。
足場はよいのだけれど、時間不足で着手できないこともある。
やはり、スケッチは出会いなのだと思う。

* * * * *

〔観察記録〕 2月17日 長沼公園

下見のときと違って、午前中は雲一つない快晴で、お天気に誘われてか、50人の参加がありました。

コースは下見のときと同じく、西尾根を上り、野猿の尾根道にある休憩舎で昼食。
このころから風が寒く感じられました。午後は平山口までを往復してから、霧降の道を下りました。長沼公園の入口で解散。あとオプションで長泉寺尾根を一周しました。

今回は、広沢さん手作りの検索表を活用して、冬芽、樹皮、樹形などの特徴をとらえながら樹木を中心に観察しました。今回のコースは、繰り返し同じ樹木が出て来るので、樹木の観察には良い場所だと思います。また時期を変えて行ければいいなと思いました。

◆観察記録（番号順です）

(01)ムクノキ、(02)ネムノキ、(03)ヌルデ、(04)フジ、(05)ケヤキ、(06)クヌギ、(07)コナラ、(08)アカシデ、(09)ムラサキシキブ、(10)イタヤカエデ、(11)ホオノキ、(12)エゴノキ、(13)コブシ、(14)イヌシデ、(15)アオハダ、(16)リョウブ、(17)ヤブムラサキ、(18)コバノガマズミ、(19)アラカシ、(20)ネズミモチ、(21)ナツハゼ、(22)クロモジ、(23)イヌザクラ、(24)ニシキギ、(25)ヒサカキ、(26)ネジキ、(27)ヤマボウシ、(28)ヤマザクラ、(29)ウワミズザクラ、(30)マルバアオダモ、(31)イヌツゲ、(32)ヤマツツジ、(33)ススタケ、(34)ウリカエデ、(35)アオキ、(36)アズマネザサ、(37)ウグイスカグラ、(38)ハリギリ、(39)カキノキ、(40)テイカカズラ、(41)サルトリイバラ、(42)コウヤボウキ、(43)ヤマハンノキ、(44)ゴズイ、(45)ヤマテリハノイバラ、(46)カラスザンショウ、(47)タマノカンアオイ、(48)コゴメウツギ、(49)ヤマコウバシ、(50)タラノキ、(51)ヤマグワ、(52)イボタノキ、(53)クマシデ、(54)クマノミズキ、

(55)ヤマアジサイ、(56)ヤマウコギ、(57)ハコネウツギ、(58)コアジサイ、(59)ツルグミ、(60)ニワトコ、(61)ヤマブキ、(62)イロハモミジ、(63)マルバウツギ、(64)アカマツ、(65)クリ、(66)モミジイチゴ、(67)チャノキ、(68)ヤブコウジ、(69)ミツバウツギ、(70)ヤツデ、(71)ハリエンジュ、(72)ヒイラギナンテン、(73)ヤブツバキ、(74)ヤマイタチシダ、(75)タチツボスミレ、(76)エノキ、(77)アケビ、(78)サイハイラン、(79)ヤブデマリ、(80)ニガキ、(81)ガマズミ、(82)カラムシ、(83)スイカズラ、(84)アカメガシワ、(85)ウツギ、(86)シバヤナギ、(87)マンリョウ、(88)オオバノイノモトソウ、(89)ヤマヤブソテツ、(90)ヤマハギ、(91)アワブキ

木本で今回お渡しした資料に記載されていないもの：

ヤマウコギ、ヤマブキ、チャノキ、ヤブコウジ、ウツギ、スズタケ
(FAM)

〔フローラオフ行事記録〕 3月15日 林将之個展オフ

林将之個展オフに弘法山観察会を組み合わせた稲城フローラオフでした。

昨夜来の大雨も上がって暑いくらいの天気となりました。

最初は、この地の由緒ある湧き水「弘法の清水」に寄る。甘味のある水は美味しかった。ここから弘法山に向かう。

浅間山の表の登り口付近にウルシが見られる。中国から来たものという。この道路の街路樹はハクウンボクである。珍しいと思っていたら、めりべさんから最近ハクウンボクの街路樹が増えてきているという解説が入る。道傍に銀葉アカシアの黄色の花がきれいに咲いていた。

今回は浅間山に裏から登る。山道に入るとオドリコソウが密生している。花の時期に来て見たいものだ。タチツボスミレの花がしっかり咲いていた。ウグイスカグラ、キブシ、ダンコウバイの黄色の花が咲いている。

展望台で昼食、ここには桜の木が多く、花の時期には花見の客で賑わうだろうと予想される。弘法山まで行き、ここから裏側に下り、ひと回りした形で、観察会を終わった。

このあと、個展会場に向かった。秦野日赤前の薬局に設けられた展示場に林さんの作品が展示されていた。写真とは一味違ったユニークな作品である。じっくりと見て回り、本日のフローラオフは完了しました。結構歩く距離があって、疲れましたが、駅前のささやかで、無事回復して帰宅しました。(FAM)

* * * * *

〔行事予定〕 2008/3/30 (日) 片倉城址公園

項目	説明
集合	am10時、JR横浜線片倉駅北口 改札口付近 ※会旗目標 片倉駅の改札口は南口もあります。ご注意ください 京王高尾線京王片倉駅から国道16号線を歩いて公園に来ることが 出来ますが、少し距離があります(500m位)
交通	JR横浜線をご利用下さい
行く先 (解散場所)	八王子市片倉城址公園、JR片倉駅pm3時頃解散予定
見所 その他	公園内にはカタクリ、アズマイチゲなど、早春の妖精たちが咲き誇 っており、雑木林ではアマナも期待できます
地図	
コース	JR片倉駅前～片倉城址公園～(公園内散策)～広場(昼食)～裏 手の雑木林散策～城址公園～JR片倉駅 その後、オプションで八王子みなみ野の雑木林を歩くかもしれませ ん コースは天候その他により変更する場合があります ご用の方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2008/4/19 (土) 三沢川下り

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線・若葉台駅 改札口付近 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 多摩モノレールの場合、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 小田急線の場合は、永山駅または多摩センター駅で京王線に乗換え 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	若葉台駅から三沢川に沿って稲城駅まで歩きます。 稲城駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	三沢川流域には雑木林や谷戸田など、豊かな自然が残っています スミレ、ジロボウエンゴサク、イチリンソウ、タマノカンアオイ、 クチナシグサ、ノジスミレ、ゲンゲ、ふれあいの森でヤマルリソウ などの花が見られると思います
地図	
コース	若葉台駅→稲城高校前→稲城ふれあいの森周辺→天神台→高勝寺→ 清水谷戸→駒沢学園→百村→京王稲城駅（解散） 行程5～6km、アップダウンはほとんどありません コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円